

市議会だより No.59 平成30年11月1日



# きたあきた

9月定例会・決算特別委員会などの内容をお伝えします。

9月定例会の審議	P2
議案等表決状況	P3
常任委員会審査報告等	P4~5
一般質問／議会全員協議会等	P6~9
決算特別委員会	P10
請願・陳情／市議会へのご意見募集	P11
世界から見た「きたあきた」	P12



～実りの秋～

# 一般会計5億6560万円増 総額240億4089万6千円



## 9月定例会の主な議事

- 一般会計補正予算
- 特別会計補正予算
- 平成29年度各決算の認定
- 北秋田市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 北秋田市障害児通園（デイサービス）施設条例の一部を改正する条例の制定
- 北秋田市在宅複合型施設条例を廃止する条例の制定
- 北秋田市営住宅条例の一部を改正する条例の制定
- 北秋田市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定

平成30年北秋田市議会9月定例会は、9月11日（火）から10月10日（水）までの30日間の会期で行われました。9月定例会では、条例案4件、予算案11件、各決算認定が23件、その他議案等4件、陳情2件の44件が提案され、陳情2件を除く42件がそれぞれ可決、認定されました。

なお、最終日に提案された人事案件2件、発議案5件、北秋田市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定については、それぞれ同意、可決されました。

平成30年度一般会計補正予算(第3号) 5億422万4千円を追加。また、平成30年度一般会計補正予算(第4号) 6137万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ240億4089万6千円とするものです。

主な補正予算	補正予算額
森吉山ウェルカムステーション整備事業補助金	90,180,000円
比内地鶏大規模モデル経営体育成事業費補助金	23,100,000円
北秋田市商工会商品券事業補助金	12,000,000円
地域連携DMO秋田犬ツーリズムによる観光振興事業負担金	32,772,000円
住宅リフォーム支援事業補助金	13,000,000円

※DMOとは、官民などの幅広い連携によって地域観光を積極的に推進する法人組織。

# 賛否が分かれた議案等の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥

所属党派・議員氏名 採決結果 議案名	採決結果	新創会					みらい					緑風・公明			共産党 議員団		無党派				
		佐藤重光	虻川敬	杉渕一弘	佐藤文信	松尾秀一	松橋隆	佐藤光子	大森光信	中嶋洋子	黒澤芳彦	堀部壽	小笠原寿	武田浩人	関口正則	板垣淳	三浦倫美	久留嶋範子	山田博康	福岡由巳	長崎克彦
【平成30年9月定例会／平成30年10月10日採決】																					
陳情第5号 消費税増税10%引き上げ中止を求める意見書 提出の陳情書について	不採択	-	○	●	●	●	●	●	●	●	▼	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○
議案第113号 北秋田市在宅複合型施設条例を廃止する条例 の制定について	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○
認定第1号 平成29年度北秋田市一般会計歳入歳出決算の 認定について	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	○	○	●	●	●	○	●	○
認定第2号 平成29年度北秋田市国民健康保険特別会計歳 入歳出決算の認定について	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	○	○	●	●	●	○	●	○
認定第22号 平成29年度北秋田市病院事業会計決算の認定 について	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	○	○	●	●	●	○	●	○

※全会一致の可決、採択については除いています。

※議長は、過半数で議決すべき場合には、法第116条第2項で「議員として議決に加わる権利を有しない」とされているため、議長は採決には加わりません。なお、当日は佐藤重光副議長が議長の職務を代行しております。

## 賛成・反対討論

※発言順に掲載しています

### ▼陳情第5号

#### 賛成討論 三浦倫美 議員

消費税は所得の少ない人程負担が重く、貧困と格差を拡大する不公平税制。税金の集め方、使い方を見直すべき。

#### 賛成討論 福岡由巳 議員

消費税10%引き上げは、暮らしと経済に有害ながら安倍政権が財界の法人税減税に込めようとするもの。

### ▼議案第113号

#### 反対討論 板垣 淳 議員

市財政が苦しい時に資産価値19億円のケアタウンをタダであげるの間違い。議会の存在意義が問われている。

#### 賛成討論 中嶋洋子 議員

ケアタウンたかのすは、民営化しても自主性・サービス水準は高く、独立運営が継続できることが検証された。

#### 反対討論 福岡由巳 議員

ケアタウン民営化を施政方針で触れずに提案は重大。市民の血税で作られた施設をタダで譲渡するのも重大。

安心してサービスを受ける施設、変わらぬ事業者の元で雇用が守られる。今後の施設管理等を考慮した民営化。

#### 賛成討論 関口正則 議員

監査委員からの「実質単年度収支が赤字に転落。大型投資公債費や物件費の増も要因」との指摘を重視するべき。

#### 反対討論 三浦倫美 議員

財政的には、大型投資があり基金の取り崩しはあったが、最大限の努力をしたことについて、一定の評価を致します。

#### 賛成討論 杉渕一弘 議員

前年比で9千万円改善されたが、市の財政はひっ迫している。医師を確保し、空き病棟を埋め赤字を減らすべき。

#### 反対討論 福岡由巳 議員

累積欠損金約29億円は経営成績として厳しい。また、常勤医16人は救急患者に対応できない状況。

### ▼認定第2号

#### 反対討論 板垣 淳 議員

国保税を7000万円値上げし2億円余らせた。値上げする必要はなかった。市民を困らせたので反対。

#### 賛成討論 中嶋洋子 議員

総体的判断で、不認定とする要素は少ない。国保会計の安定運営も必要、減免対象も引き続き当局に求めていく。

#### 反対討論 福岡由巳 議員

国保加入世帯の職業構成は生活困窮者等が圧倒的。29年度はこの階層への大増税となった。国の大幅支援こそ急務。

### ▼認定第22号

#### 反対討論 久留嶋範子 議員

累積欠損金約29億円は経営成績として厳しい。また、常勤医16人は救急患者に対応できない状況。

#### 反対討論 福岡由巳 議員

累積欠損金約29億円は経営成績として厳しい。また、常勤医16人は救急患者に対応できない状況。

### 総務文教常任委員会

#### 阿仁合駅に 森吉山ウエルカムステーション

当委員会に付託された案件は、条例案1件、予算案3件、陳情1件の計5件。

北秋田市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定については、全会一致で可決すべきと決しました。

平成30年度一般会計補正予算については、森吉山ウエルカムステーション整備事業補助金についての質疑があり「森吉山一帯の自然や建物全てを俯瞰出来る施設にしたいと考えている」との答弁がありました。

陳情第5号「消費税増税10%引き上げ中止を求める意見書提出の陳情書について」は賛成少数により不採択と決しました。

(委員長 大森 光信)

#### 宮前町庁舎改修へ

宮前町庁舎の設計委託費について質疑があり「改修は耐震補強、空調設備の総取り換えの他、現在、管理棟となっている1階を執務室として使用可能にする工事を予定している」との答弁がありました。以上の審査を踏まえ、全会



さらに改修される阿仁合駅



### 市民福祉常任委員会

#### 在宅複合型施設条例廃止

当委員会に付託された案件は、条例案2件、予算案7件の計9件。

障害児通園(テイサービス)施設条例について、土曜日の開園による開園時間、利用料金及び職員の配置や体制について質疑があり「開園時間と利用料金はこれまでと同様であり、指定管理者側では当初、土曜日の開園も希望されていました」との答弁がありました。

#### 介護特会は安定運営

ないし、財政状況や長期的な視野での運営が円滑に図られる」等の賛成意見があり、採決の結果、賛成多数で可決されました。

在宅複合型施設条例を廃止する条例の制定について「ケアタウンたかのすだけを民営化するのか」と質疑があり「今までどおり質の高いサービスが提供され、雇用と施設管理の面でも、長期的な視点に立って継続できると判断された」との答弁がありました。

介護保険特別会計補正予算では、基金に積立をする考え方について質疑があり「介護保険事業を安定的に運営するため」との答弁がありました。以上の審査を踏まえ、付託されたその他の案件は全会一致で原案のとおり可決すべきと決しました。

(委員長 佐藤 文信)



ケアタウンたかのす民間移管へ



# 3つの常任委員会

## 産業建設常任委員会

### 市営新住宅6年目に正規家賃

当委員会に付託された案件は、条例案1件、予算案3件、単行議案4件、陳情1件の計9件。

市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について「入居条件は前と同じか」との質疑があり「家賃は上がるが、5年間で少しずつ上げ、6年目に正規の家賃になるようにしていく」との答弁がありました。

平成30年度一般会計補正予算では、比内地鶏大規模モデル経営体育成事業費補助金には「鶏舎の整備に補助する事業で合川地区の1組織が採択」との説明があり、阿仁林業センターの解体費については「調査段階では見えない部分に、アスベストが見つかり処理の工法を積算したところ大きな額になった」との説明がありました。

付託された議案については、全て全会一致で原案のとおり可決すべきと決しました。また、陳情については、継続審査することと決しました。

(委員長 堀部 壽)

### 阿仁地区古民家を

### 宿泊・カフェに

観光振興事業負担金につ



新しく完成した市営住宅

### 所管事務調査報告

### 石狩市・千歳市を視察研修

### 議会運営委員会所管事務調査

議会運営委員会では、7月3日、4日、北海道石狩市、千歳市において議会改革等について所管事務調査を実施しました。

### リース終了のパソコンでICT化

石狩市では、市職員が使用した5年リース終了のノートパソコンを格安購入し、全議員に貸与。議案書や説明資料等のペーパーレス化などを行い、初期導入費用を抑えた情報通信技術(ICT)を利用した議会運営を行っていました。

### 意見交換会

### アンケートの実施

印刷製本にかかる人件費や消耗品などの経費の削減ができ、また議員活動の効率も高まったとのことでした。

千歳市では議会報告会の際に参加者の方とテーマを設定し、議員個人の意見や考えを述べる

議会運営委員会では、7月3日、4日、北海道石狩市、千歳市において議会改革等について所管事務調査を実施しました。

今回の視察を踏まえ、当議会でも今年度の議会報告会からテーマを決め、参加者と意見交換を行うこととし、またアンケートをお願いして今後の議会活動の参考にすることとしました。

両市の取り組みを参考にし、更なる議会改革・活性化への取り組みについて協議することを当委員会では確認しています。



北海道石狩市

# 活かそう市民の声 市政を問う!

# 一般質問

◎一般質問は、「一問一答方式」と「総括質問方式」の選択制としています。



### ◆一般質問とは?

議員が市長や教育長など市当局に対し、広く市政についての報告や説明を求めらるもので、定例会ごとに行なわれます。



各議員の質問に答弁する津谷市長

① 福岡 由巳 議員  
 1 北秋田市視覚障がい者支援  
 2 北秋田市史、記念誌編さん  
 3 集落間の県道・市道の街灯  
 [P.6]

② 板垣 淳 議員  
 1 ケアタウン  
 [P.7]

③ 虻川 敬 議員  
 1 北秋田市における道路交通インフラ  
 2 空き家等実態調査  
 3 災害時の情報発信  
 4 伊勢堂岱遺跡  
 [P.7]

④ 久留嶋 範子 議員  
 1 市民の健康づくり  
 2 3R (リデュース・リユース・リサイクル) 推進  
 [P.8]

⑤ 大森 光信 議員  
 1 農業政策  
 2 観光政策  
 3 商工業政策  
 [P.8]

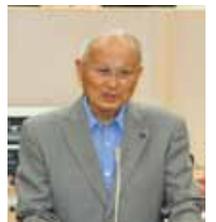
⑥ 三浦 倫美 議員  
 1 小阿仁川の洪水対策  
 [P.9]

一般質問は、9月13日・14日に行われ、6名の議員が登壇しました。  
 ※掲載文は、質問者の執筆による原稿を掲載しております。



## 視覚障がい者の支援策を詳細に

福岡 由巳 (無党派)



Q 視覚障がい者用信号機が鷹巣地区4ヶ所に設置されているが、そのうち3ヶ所の周辺は点字ブロックが整備されていなく歩ける状態でない。どうするのか。  
 A 設置されていない区間については何処なのか承知していない。もし、要望があるとすれば、道路会社だけでなく、関係機関と連携調整しながら進めていくことになると思っている。

Q 信号があつて点字ブロックが設置されていないのはおかしくないか。当局はもつと現場をよく見るべき。本庁舎についても点字ブロック上にマットや立て看板があり、違反であり直ぐ改善すべきでないか。  
 A 以前は障がい者から話を伺う機会があつたが、そういう機会が少し失われてきていると感じる。その辺を含め点検しながら職員で徹底させていきたい。

Q コムコムの階段の登り口、踊り場、降り口にも点字ブロックがあるが障がい者の話によれば危険で歩けないとのことである。規格どおりか。改善すべきでないか。障がい者にかかわる問題を事前に



点字ブロック整備中途半端

話し合うことなく執行しているから起こっているとの話であつた。  
 A 階段は危険かどうか把握していなかった。点検する。

Q 合川木戸石信号機から松ヶ丘に通じる県道にある街灯の電気料について、木戸石側は市が負担して、松ヶ丘側は自治会負担になっていた。なぜ違うのか。  
 A 当時、合川北小への通学路であり、松ヶ丘自治会の要望によって設置された。地元要望は地元負担と考えている。

Q 集落間の主要道の街灯料金は方針を統一し、市が負担すべきでないか。  
 A 幹線道路、通学路のことも含めて調査し、対応を検討していきたい。

## ケアタウン譲渡 タダは認めぬ

板垣 淳 (共産党議員団)



**Q** 市はケアタウンを社会福祉協議会に無償譲渡すると発表した。譲渡先が社協であることは賛成。しかし、タダはだめ。理由は、①市財政がこれまで以上に厳しくなっていること、②建物の資産価値が数億円であること、③一括繰り上げ返済したものの、建設費の借金が9億円あったこと、④儲かっている施設であること、⑤市が大金をかけてベッドの買い替えや建物の修繕をしたことなどである。つまり「借金も建物もきれいにしました。もうかる施設です。タダであげます」ということ。これが正しい判断なわけがない。譲渡するならば適正価格で売却すべきでないか。

**A** 公益事業を譲渡するにあたり有償はなじまないと考える。

**Q** 理由にならない。しかも決める方はトップダウン。議会に市の方針を伝える「施政方針」でも一度もふれなかった。

**A** 反省している。

**Q** 昨年10月の議会全員協議会でこの案に賛成した人は一人もいなかったのに3日後に無償譲渡の公募を開始した。議会が反発するの



無償譲渡問題に揺れたケアタウン

は当然のことで、市長は撤回に追い込まれ、議会に「私の間違った判断だった」とお詫びした。なのになんか同じことをした。今年6月の全員協議会で同じ案を述べ、直後に公募し、譲渡先を社協に決めたのである。あのお詫びは何だったのか。

**A** 6月の全員協議会では反対意見がなかった。

**Q** 賛成意見もなかった。

**A** 今議会にその議案を提案しているのだから、そこで意見を言っても遅い。遅いからいい。

## 縄文文化遺跡を観光資源へ

虻川 敬 (新創会)



**Q** 北海道北東北縄文遺跡群が世界遺産登録に向け、様々な取り組みがなされ注目されております。近隣の三内丸山遺跡や大湯環状列石と伊勢堂岱遺跡を比べると、観光地としての環境整備が劣るよう感じますが、今後どのように観光資源としての磨き上げを図るか。

**A** 「空路・鉄路・陸路」を有する当市の強みを生かしながら、空港レストランや近隣の飲食店等との連携を図りながら、誘客出来るような周知を図ってまいりたい。なお、文化財の保護といった観点から十分な配慮がなされるよう留意してまいります。

**Q** 伊勢堂岱遺跡と鷹巣中央公園とを連動させ、縄文文化のテーマパークとして活用してはいいか。

**A** 鷹巣中央公園は「観光秋田三十景」の一つにも数えられる公園でありますから、従来の目的を考慮しながら、遺跡を起点とした市内周遊観光コースの検討の中で結び付けてゆきたい。

**Q** 観光乗合い周遊タクシーの現状以上の周知の充実を図るべきではないか。

**A** 現在、主要観光拠点などにリーフレットを配置している。また、ホームページ上での情報発信、観光キヤラバンでのPRなど展開しているのだから十分告知と考える。看板の設置については、今後検討させていただきたい。

**Q** 乗り合いタクシー、デマンド型乗り合いタクシー、代替タクシーの乗車ルールの統一を図るべきではないか。

**A** 現在の課題としましては「増沢市民病院線」が定時定路線乗り合い形態となっており、利用者と協議しながらデマンド型へ移行できないか検討してまいります。新ルートや、時間の変更、増便などは協議があった場合は速やかに対応してまいりたい。



伊勢堂岱環状列石

## 特定健診の受診率アップの方策は

久留嶋 範子 (共産党議員団)



**Q** 「第2期けんこう北秋田21計画」が平成29年度から10カ年計画で策定されたが、具体的な取り組み状況について伺います。当市における特定健診受診率は年々減少傾向にあり、受診率向上のための方策は。

**A** 平成28年度の受診率は、県平均36・5%に対して、27・9%と県内でも低い。具体的な取り組みとして個別通知や、電話による受診勧奨、かかりつけ医から検査結果を情報提供してもらい、特定健診とみなし受診向上を図っている。平成31年度に向けて健康ポイント制度も導入しながら、受診率向上に繋げたい。

**Q** 生活習慣病は多くの場合、生活習慣を見直すことで未然に防ぐことが可能と言われている。予防については。

**A** 正しい食生活と運動習慣、禁煙・飲酒について啓蒙活動を行い各関係機関と連携しながら、生活習慣病予防の強化と推進を図っていききたい。

**Q** 県内でも実施されている長寿・健康増進事業として、はり・きゅう・マツサージ助成と脳ドック

補助の実施計画は。

**A** 当市の死因別の死亡者数は多い順に悪性新生物(がん) 161人、心疾患93人、脳血管疾患66人となっており、予防や早期発見、健診受診体制の整備が非常に重要。助成は県内の状況を把握し前向きに検討したい。

**Q** 古着・古布の回収について、今後の実施計画は。

**A** 今年度は鷹巣と森吉の2地区で11月11日の日曜日に実施予定。今後も利用状況を見て継続していきたい。

**Q** 家庭で使わなくなった中学校・高校の制服など無償回収できないか。

**A** 他市の事例を参考に検討していきたい。



けんこう北秋田21計画

## 30年産主食用米の見通しは

大森 光信 (みらい)



**Q** 需要が高まっている多収品種の作付けを奨励する必要があるのではないか。

**A** 重要なターゲットとして捉えているが、現状を見守りたい。

**Q** 地域農業を支える、さらに言えば市の農業政策を遂行していくうえで、農協の存在は欠かせないものである。JAの合併に、市は何を期待するか。

**A** JAの合併により、農家の皆さんが信頼を寄せて安心して営農をできるように、農業経営が足腰の強いものとなることを期待している。

**Q** 本市の農業産出額は目論見通り増えているか。

**A** ここ数年は現状維持に留まっている。

**Q** 地域連携DMOの現在までの成果と今後の展望について。

**A** ここ数年のエリア全体における「観光客入込客数」「宿泊者総数」「外国人宿泊者数」は増加傾向にある。

**Q** 地域連携DMOは変更事業が国に採択され、平成33年度まで継続することになった。補正予算でも運営費等の負担金が計上されて

おり、事務局に職員を outward させ、連携の強化を図るべきではないか。

**A** 月1回程度の打ち合わせ会議を行っており、情報共有が図られている。

**Q** 市内の雇用を維持し、技術の継承、街づくりという観点からも後継者の確保は喫緊の課題であり、商工団体と行政が一体となって事業継承施策に取り組んでいかなければならない。商工業者の後継者不足について、現状を把握し、対策を講じているか。

**A** 商工会では後継者不足による廃業を未然に防ぐため、事業継承の意向についての調査を実施している。商工会や関係機関と連携を図りながら企業存続のために努力していきたい。



話題となったモフモフ動画

## 小阿仁川の水害対策について

三浦 倫美（共産党議員団）



**Q** 豪雨災害後の復旧作業等の進捗状況は。

**A** 5月18日、19日の被災箇所では「国の災害復旧事業」に申請、査定後に工事を発注し、来春の耕作に向かう箇所（杉山田から三木田にかけて農地一箇所、農業用施設一箇所）。一部では国の災害復旧事業を活用せずに、農業用水路等の土砂の撤去を実施。杉山田、雪田地区では土地改良区が事業主体となり、農地の均平作業が終了。8月15日、16日の被災で、水路や農地への土砂堆積と表土の流出は国の災害復旧事業を実施する予定です。

**Q** 市、県、国等の復旧制度の課題は何か。国の制度に該当しない県の小規模災害支援事業（事業費10万円以上40万円未満、事業実施主体、市町村または土地改良区）の検討を。

**A** 県の災害復旧事業の活用に必要なとなる市要綱の策定について、現在、制定時期を見極めていきます。国の事業は、国の査定が必要であり、早期工事着工へのハードルや、広い面積により農業者の負担が高いというケース等あり、活用しや

すい制度であるよう、県等を通じ国へ伝えてまいります。

**Q** 小阿仁川の整備について、県は深刻な被害状況や、被災地からの強い要望を重く受けとめ、小阿仁川河川改修事業について、新たな計画を示しました。地域住民、市、県、各関係機関とのさらなる連携で合意形成を。

**A** 県から「被害が多発して緊急に対策が必要な個所の築堤等に着手する」との報告を受けており、地域への説明に連携を図ります。

**Q** 私は、政府交渉し農林水産省と国土交通省へ支援要望しました。市も要望活動の強化を。

**A** 要望継続します。



8月冠水で再度被災した農地

## 議会全員協議会

### 米内沢診療所着服問題 再発防止策を説明

第3回議会全員協議会が9月11日に開かれ「米内沢診療所における一部負担金等横領事件」について、説明がありました。

当局によると「平成29年度の決算審査にかかる資料精査の過程において、平成29年度決算と平成28年度を比較したところ、患者数は減少しているものの一部負担金収入は増額となる不自然な状況から、平成29年度及び平成28年度について、月々のレセプト通知書から1年間の大まかな一部負担金収入を算出。実際に市会計に納付された金額と比較し、平成28年度分に大きな差異が認められた。再発防止策として、金融機関に持参する直前に複数の職員によるチェックを実施し、現金取り扱い部門への抜き打ち監査を行う」など体制を整えたと説明。最後に「この度は市政に対する市民の皆様の信頼を著しく損なうこととなり、また多大なるご迷惑をお掛けしたことを心からお詫び申し上げます」と陳謝しました。

### 「北秋田市議会商工会活動を支援する議員連盟」設立

平成30年10月10日「北秋田市議会商工会活動を支援する議員連盟」の設立総会が開かれました。総会では、全議員が参加し、市内商工業者の発展と経営の改善に関する相談とその指導、地域振興を図るための諸活動及び社会一般の福祉の増進に資することをねらいとし幅広い活動を行っている北秋田市商工会を支援することを確認しました。

## 人事案件

9月定例会に人事案同意案件が追加提案され、次のとおり同意することに決定しました。

### 教育委員会委員の

#### 任命について

◎ 蒔苗 隆 氏（新任）

### 人権擁護委員候補者の

#### 推薦について

◎ 高橋 進 氏（新任）  
◎ 亀谷 隆道 氏（再任）

## 決算特別委員会設置

今定例会には、平成29年度各会計決算の認定23件が提案されました。各常任委員会から選出された委員は次のとおりです。

### 一般会計決算特別委員会

▽委員長 福岡 由巳  
▽副委員長 佐藤 光子  
▽委員 三浦 倫美  
小笠原 寿  
杉 一弘  
松尾 秀一  
長崎 克彦  
佐藤 重光  
松橋 隆

### 特別・企業会計決算特別委員会

▽委員長 武田 浩人  
▽副委員長 山田 博康  
▽委員 虻川 敬  
久留嶋 範子  
佐藤 文信  
大森 光信  
板垣 淳  
堀部 壽  
中嶋 洋子

## 決算特別委員会審査報告

平成29年度各会計決算認定案23件が各委員会に付託され、去る9月11日の委員会構成から、10月4日までの期間において、特別委員会を開催しました。

### 一般会計決算特別委員会

本委員会に認定議案として付託された事件は、1件でありました。

審査の最終日には、市長、副市長、教育長に対して総括質疑を行い、認定・不認定の判断に資しました。

付託された「一般会計歳入歳出決算の認定」については、各所管の決算審査のほかに、総括質疑においても「監査委員の指摘」「移住定住促進等」「公共施設等の有効利用」「健康寿命」「市民所得」「観光行政」「時間外勤務と職員配置の適正化」等多岐にわたる質疑があり、各委員より当局に対し、様々な角度から貴重な意見や提言も多く出されました。決算審査の内容は、監査委員の意見「当年度の実質単年度収支が赤字に転落したことに関して、行財政改革は全庁挙げて例外的ない改善・改革に努められたい」を踏まえ、

次年度以降の「予算編成指針」としても、大いに期待できる審議となりました。

なお、慎重審査を経た結果、一部の意見の一致がみられず、討論では「監査委員から実質単年度収支が赤字に転落したと指摘され、その要因として大型投資による公債費や物件費の増がある」と示されたことは重く受け止めるべき。市民生活上への財政を拡充させつつ各事業の中長期的な計画性、特に大型建設事業のバランスのとれた市政運営を求める」との反対討論がありました。また「決算の結果については大型投資や基金の取り崩しはあったものの、最大限努力した結果である」と賛成討論がありました。採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決しました。

### 特別・企業会計決算特別委員会

本委員会に認定議案として付託された事件は、22件でありました。

審査の最終日には、市長、副市長に対して総括質疑を行い、認定・不認定の判断に資しました。

国民健康保険特別会計では、一部で意見の一致をみることができず「昨年の3月定例会で税

率改定が提案され、その際の答弁の中で減免規定を見直すというところで、議会は税率改定を認めたものであるが、減免取扱規則の一部変更では、肝心の保険税の減免には手をつけていない。議会に約束したことをしていない。決算は認めるわけにはいかない」との反対討論がありました。また「しっかりと減免対象についても引き続き当局に求めていかなければならないが、国保特別会計の安定した運営も含めて相対的に判断すると、29年度決算については不認定とする要素は少ない」との賛成討論がありました。

また、病院事業会計決算においても、一部で意見の一致をみることができず「平成29年度は地域包括ケア病棟の開設で収支は一定数改善されたが、市の持ち出しは全部で6億数千万円あり、医師確保はこれまでと同様である。市との連携を深めながら市民の立場に立った病院を指すべきである」との反対討論がありました。

採決の結果、二つの議案とも賛成多数で認定すべきものと決しました。

また、他の認定議案については、全て全会一致で認定すべきと決しました。

## 皆さまからの請願・陳情と意見書提出

件名	請願・陳情者氏名	結果	意見書
食糧の安全・安心を図るために農産物検査法及び食品表示法の抜本的見直しを求める陳情	生き物共生農業を進める会 代表 今野 茂樹 美しい八郎湖を次代に残す会 代表 桑原 秀夫 (有) ライスランド大潟 代表 山田 隆介	継続審査	
消費税増税10%引き上げ中止を求める意見書提出の陳情書	秋田県商工団体連合会 会長 小玉 正憲	不採択	

## 本会議等の会議録がご覧になれます

- ② 会議録検索システムをクリック ② (市議会のページへ)

### ① (北秋田市ホームページ)



### ① 北秋田市議会をクリック



### ③ (会議録検索閲覧のページへ)



### ③ 閲覧したい年をクリック

## 市議会へのご意見をお寄せください

《市議会では、議会活動の活性化を図るため、市民の皆様のご意見を募集しています》

- 対象 市内在住者又は通勤通学している人
- 方法 手紙、FAX、メールなど（文字で読める形式のもの）
- 公表 ご意見をホームページや広報紙で公表する場合があります。
- あて先 〒018-3392 秋田県北秋田市花園町19番1号
- メール gikai@city.kitaakita.akita.jp
- FAX (0186) 62-4845



## 世界から見た「きたあきた」

初めての日本生活は周りの人のおかげで完全に慣れてきました。北秋田に来て1年半が経ち、いろいろなことを経験することができ、さまざまな人にも出会うことができました。稲刈り体験、友達と一緒にファームステイ（農場や牧場などに数日間宿泊し、農場生活を体験する、民宿の一種）、合川まとび祭り、よさこいチームに入ったことなど、たくさんの思い出がありました。これからも、いろいろなことに挑戦して、もっともっと北秋田市の魅力を見つけていきたいと思っています。



登山



故郷 ノースカロライナ州ローリ市



ノースカロライナの浜辺



稲刈り体験

## 自己紹介



こんにちは！

アメリカのノースカロライナ州から参りました「リーガン・愛希」と申します。去年の8月にALT（外国語指導助手）として北秋田に引っ越してきました。現在は、合川小・中学校で英語を教えています。

大学ではPRと非営利団体の経営を勉強し、京都市の立命館大学へ留学したこともあります。日米関係に興味を持ち、JETプログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）に応募してみました。

ノースカロライナはアメリカの東海岸にあり、自然環境は秋田と似ています。素敵な山や浜辺と美味しいバーベキュー（南部料理）がノースカロライナの魅力です！

## 『表紙写真の募集について』

### 【募集内容】

北秋田市内で撮影した四季折々の行事や風景など「市議会だよりきたあきた」の表紙にふさわしい写真で、次のいずれにも当てはまるものを募集します。

- ①応募者本人が北秋田市内において、おおむね1年以内に撮影したもの。
- ②未発表のもの。
- ③2～4MBのデジタルデータ（JPG形式）で提供できるもの。

④人物が特定できる場合は、被写体の承諾を受けたもの。

⑤個人の所有物を被写体とした場合は、所有者の承諾を受けたもの。

### 【応募方法】

応募用紙と応募写真をEメールに添付して御応募ください。詳細については、市ホームページ内の北秋田市議会「市議会だより」に掲載しております。

応募先メールアドレス

【[gikai@city.kitaakita.akita.jp](mailto:gikai@city.kitaakita.akita.jp)】

### 【応募期間】

年間を通して随時応募を受け付けますが、季節・時期等を感じる作品については、発行日の1カ月前までにお問い合わせをお願いします。

### 【発行日】

5月1日・8月1日  
11月1日・2月1日



次の定例会と各常任委員会は「12月」です市民の皆さまの傍聴をお待ちしています

各常任委員会の会場  
総務文教（阿仁庁舎）  
市民福祉（森吉庁舎）  
産業建設（合川庁舎）

広報特別委員会  
委員長 杉 潤  
副委員長 三 浦  
委員 佐藤 武 佐藤 虻 三 杉  
藤 田 藤 川 浦 潤  
重光 浩光 倫一  
光 人 子 敬 美 弘